



福津市議会議員



石田まなみ

NEWS No.014

討議資料

発行日：2023年5月20日
発行：石田まなみ後援会
福津市東福岡 3-2-1
☎0940-72-5188



2期目スタート しました。

2022年12月25日開催の福津市議会議員選挙では、あたたかなご支援をありがとうございました。これからも初心を忘れず頑張ってまいります。

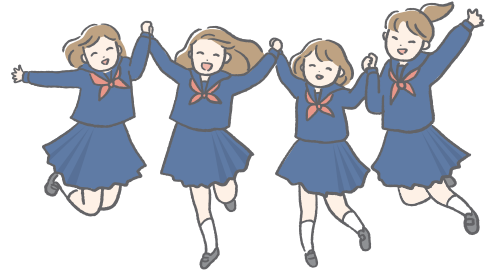


POINT!

生理の貧困に関する請願を提出し、可決されました。

小・中学校や公共施設のトイレに生理用品の設置を求める請願を3月議会で提出しました。石田は紹介議員となり、まずは付託された総務文教委員会にて請願者とともに説明をしました。生理の貧困は、経済的な理由で生理用品を入手することが難しいだけでなく、家庭的な理由で保護者に買ってほしいとも言えない場合もあります。また10代の子たちは、ホルモンバランスがま

だ不安定で、生理周期も早くなったり遅くなったりしがちです。安心して生活できるような対処を求めた請願に、委員会でも本会議でも、全員の賛成を得ることができました。



3月議会 (2023.2.20 ~ 3.20)

2023 (令和5) 年度の当初予算 歳入歳出ともに 284億2,256万円

「病児保育事業」 予算3,090万円

病気の回復期にあって、集団保育が難しい乳幼児等の保育を一時的に行う事業です。宗像医師会へ負担金、一時保育を実施している市内の事業者に補助金を交付します。

*病児保育事業に関しては、その後国の方針が固まったとして「病児病後児保育事業補助金305万円」が3月30日の臨時議会で補正予算として計上・可決されています。



「津丸踏切改良事業」

予算2億円

2019年9月議会一般質問で取り上げた、道幅が狭く車や歩行者が通行する際に危険とされていた津丸踏切を、JRとの実施協議をふまえて2年かけて改良工事をする予定です。事故防止対策として歩行者通行空間の確保を行って安全性の向上を図ります。

新規事業

「こころと生き方の相談事業」

予算59万円

1 DVや離婚、孤立による生活全般の不安に悩んでいる方などを対象に、専門の相談員が毎週水曜日に常駐しての相談受付がスタートします。(性別関係なくご相談できます。)*事前の予約が必要です



「がん検診推進事業」

予算173万円

2 「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」として、従来のがん検診に「20歳女性対象の子宮頸がん検診」を新たに加えます。この検診に係る費用の助成をし、対象者に無料クーポン券などを個別に送ります。

一般質問①

福津市中学生未来会議について

提案された案件の数と、その後の庁内での取り扱いについて

【市の答弁】

2019（平成31）年度は12件、2020（令和2）年度は7件、2021（令和3）年度は8件、2022（令和4）年度は14件の提案があった。所管の郷育推進課をはじめ、うみがめ課、地域振興課、高齢者サービス課、契約管財課、まちづくり推進室、議事課などと共有しながら、福津をより良いまちにするための参考にしている。

国では子ども家庭庁が設置され、「子ども基本法」が施行されている。子ども関連の施策に子どもの意見を取り入れることがこれから進められる。この未来会議から出た意見も、未来会議自体も施策実現に活用できるのでは？

【市の答弁】

福津市中学生未来会議を通じて、地域の課題解決を自分事として捉えて、社会の一員としての意識を育てていくことが、主権者教育だと考えて、今後も関係課との連携を図りながら、子どもたちの「まちづくりに参画したい」という思いに応えられるように取り組みたい。

中学生未来会議についての
イシダの意見

毎年、鋭い視点で市の施策に対する提案をしている中学生の考えは、正直大人顔負けです。中には実際に活用できるんじゃないかと思います。その意見を受け止めて、施策に反映させることで、その子たちが大人になったときに「自分たちが中学生の頃に提案したことが実現したんだ！」と自信につながり、福津市をさらに好きになるといいます。「子どもの声がいきるまち、福津市」って、いいと思いませんか？



一般質問②

福津市の防災施策について



避難所用のパーテーションや段ボールベッドの数は、どのくらい常備しているのか。

【市の答弁】

パーテーションについては、小・中学校の体育館に2～3個を常備している。段ボールベッドは、中・長期の避難所生活で使用するので、避難所への配備はしていない。

市の備蓄品の中の備蓄食以外の、紙おむつや生理用品などの日用品の備蓄はどうなっているか。

【市の答弁】

紙おむつ（大人用）（子ども用）生理用品、ティッシュペーパー、タオル、粉ミルクなどを、備蓄食（アルファ化米や飲料水）とは別に備蓄している。子ども用紙おむつや生理用品はサイズ等を考慮しながら、今後も備蓄を進めていく。



福津市の防災会議の組織構成の中に、地域を代表する郷づくり地域推進協議会が入っていないのはなぜか。

【市の答弁】

郷づくり地域推進協議会については、郷づくり代表者会議や事務局員会議をはじめ、各交流センターに出向いての協議を通じて、担当課との連絡や対話の場を持っている。しかしながら今後の地域協議の一つとして検討していく。



乳幼児がいる保育所での避難計画の作成を義務付けているが**保育士が足りない現状で、現実的に無理な計画になっていないか。**

【市の答弁】

避難計画は原則努力義務規定となっているが、日々の訓練の中でどのような避難が必要か、どのような体制が必要かを考えながらの実施していただいている。人員不足の課題には、どこに助けを求めなければならないかを検討する課題と考えている。

保育所の課題も含めて、郷づくりや自治会、学校、防災推進員、防災士会などで、「地域の防災」を考え、共有する必要があるのでは。

【市の答弁】

防災に関する地域の課題や問題点などを、地域諸団体と共通の認識を持って解決へとつなぐ、そこにはさらに消防団も加えていくことを考えている。また、数年開催されてなかった防災会議を、今後はしっかりと開催させ、そして現実により合った行動計画も含めて、地域の皆さんと進めていく。

防災施策についての
イシダの意見



市一斉防災訓練も毎年恒例となりましたが、コロナ禍もあって、従来のような防災訓練や新しい取り組みができず、参加者も少なくなっている地域もあります。一方で台風や大雨は減ることがなく、毎年避難所が開設されています。保育所の課題についても、保育所だけの問題でなく、介助が必要な高齢者の方も含めて、どうしたら「命を守れる」のかを考えていく必要をかんじます。これまでも、個人情報観点から難しいとされていた、地域での情報共有も、いろんなアイデアを集めたら、と思います。

2022年6月議会一般質問で取り上げた
市役所の中庭が改築されました



市民の憩いの場にならうという思いが込められています

【人事案件】



3月議会では大嶋正紹教育長の任命の人事案件がありました。学校建設も進み始めたところでしたので、建つまで責任をもってほしいという期待を込めて賛成しましたが、賛成少数で不同意となりました。

3月臨時議会では、2年ほど不在でした副市長の人事案件があり、前総務部長の本多研介さんが賛成多数で同意されました。

3.8 国際女性デー

1904 年、ニューヨークで婦人参政権を求めたデモが起源となり、1975 年に国連によって 3 月 8 日を「国際女性デー」として提唱されその後 1977 年に国連総会で議決されました。物事を決める場に、女性をはじめ、多様な立場の方が意見を出せるようにすることが大事です。この日は福岡市の天神で、夕方から行われた「ウィメンズマーチ 2023in 福岡」に参加して、みなさんに訴えをしてきました。この様子は、翌日 3 月 9 日の毎日新聞にも掲載されました。



みんなで学ぼう 「ビバ！まなみバ！」



2 月 5 日の第 2 回では、「女性だから言えることって何だろう？」というテーマでした。福津市議会議員選挙の後ということもあって、「女性の政治参加」などを中心に前半は話をしましたが、後半は介護職場の現状などを、実際に仕事として携わっている参加者より話を伺いました。

福津について一緒に学び、語り合う場「ビバ！まなみバ」がスタートしました。生活の中の疑問など、毎回テーマを決めて、参加者みんなで気軽に話をしています。

参加者の感想

- ・介護はわが事です。現場の話聞いたのはよかった。
- ・認知症の方側からの視点を知ることができた。

3 月 12 日の第 3 回と、4 月 9 日の第 4 回は、防災と備蓄食をテーマに開催しました。最近の備蓄食は、乾パンやアルファ化米の他にもパンなどの種類が増えています。その備蓄食に乾物などを組み合わせて、日頃の食事に使いながら、買い足ししている「ローリングストック」についてや、実際の備蓄食を試食して、自分の口に合ったものを備えておくことの学びをしました。避難所生活には楽しみもなくちゃという事で、デザート用の羊羹やケーキ類もあることを知り、ビックリ！



参加者の感想

- ・いろいろな防災食や備蓄品があることを知り良かったです。
- ・防災食レシピ、ありがとうございました。

毎月第 2 日曜の 13:30 ~ 開催です。場所は福津市東福間 3-2-1 です。参加希望の方は、メールで vivamanamiba@gmail.com まで。(右の QR コードからも申し込めます。)

